

7日臨技発第 268 号

令和 8 年 1 月 26 日

都道府県臨床(衛生)検査技師会  
会 長 各 位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
代表理事会長 横地 常広



### 医療技術部門管理資格認定制度の受講について(周知)

日頃から当会への運営に対してご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

令和元年度、医療の高度化、複雑化する医療制度に対応するため、検査部門の管理者に留まらず、病院の経営管理も担える人材育成を目的に、従来の認定管理検査技師制度を見直し、新たに「医療技術部門管理資格認定制度」を創設しました。

この制度は業務提携を行う千葉科学大学での e-ラーニングの受講と日臨技が実施する 2 回(夏・秋)の集合研修を受講したのち、認定試験に合格することで「医療技術部門管理資格認定」を取得できる制度です。

また、「医療技術部門管理資格認定」を取得された方は、業務提携を行う千葉科学大学大学院修士課程へ日臨技が推薦することで、履修単位、授業料等の減免措置を受けられ、大学院の修士課程を修了した方は、本制度の上位の資格「医療管理者資格」制度の認定試験を受験、合格することで「医療管理資格認定証」が授与されます。

本制度の概要につきましては、別添 1「認定制度の概要(医療技術部門管理資格、医療管理者)」を参照下さい。

また、本制度は看護管理制度や医療経営士などのように、広く外部の団体より評価・認知していただくために必要な条件を取り揃えた科目の履修を課しております。

初年度であった令和元年度は 13 名が「医療技術部門管理資格認定」を取得し、その後、初年度を含め 6 年間で計 108 名の申込みがありました。

そこで、貴会の会員へ本制度を広くご周知いただき、令和 8 年度もひきつづき多数の会員が受講されるようお願い申し上げます。

なお、申し込みに必要な書類については、下記のとおりとし、3 月 31 日(火)必着、日臨技事務局まで郵送でお送り下さい。

\*2 月 20 日(金)までに提出いただきますと e-ラーニングの受講が 4 月 6 日(月)より視聴開始となります。

(ただし、視聴するための ID など郵送いたしますので地域によっては到着が遅れ、

4月6日からの視聴ができないこともございます。)

3月31日(火)までに提出いただきますとeラーニングの受講が5月頃より視聴開始となります。

## 記

### 《添付書類》

千葉科学大学の科目履修生登録に必要な書類

- ・科目履修生許可願い
- ・履歴書(様式任意)
- ・最終出身学校の卒業(修了)証明書
- ・写真(履歴書添付1枚、学生証明1枚)

以上

### 《連絡先》

一般社団日本臨床衛生検査技師会

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7

TEL:03-3768-4722 Mail:[gyomuka@jamt.or.jp](mailto:gyomuka@jamt.or.jp)

担当執行理事:宮原 祥子

事務局:白石 元気

## 認定制度の概要（医療技術部門管理資格、医療管理資格）

①（日臨技認定）を目指す者

日臨技が実施する所定の科目を履修（5科目9単位）+  
日臨技集合研修

「医療技術部門管理資格」認定試験（受験料：税込み20,000円）

合格

「医療技術部門管理資格」認定証の授与

&lt;日臨技推薦枠&gt;

履修単位/授業料の緩和処置

大学院に進学し修士課程を修了した者

「医療管理資格」認定試験

合格

「医療管理者資格」認定証の授与

②直接社会人大学を目指す者

通常の大学院入学試験を受験・合格

履修単位/授業料の緩和処置なし

大学院に進学し修士課程を修了した者

受験するには

受験条件

- ・実務経験
- ・施設の実績
- ・施設の推薦
- ・実務経験の論文
- ・面接

一定の条件を満たしたものに受験を許可する

# 医療技術部門管理資格認定制度の概要：既取得者の新制度移行と受験の緩和処置

①既取得のままでよい

既取得者の制度は今後も存続するが、新たに「認定管理検査技師」の募集は行わず、既取得者に対する研修及び更新制度ない。ただし何時でも選択②、選択③への受験は可能

②既取得者で「医療技術部門資格認定」から受験する者

日臨技が実施する所定の科目を履修（5科目9単位）に関して免除処置\*）+集合研修

「医療技術部門管理資格」認定試験（受験料：税込み20,000円）

合格

「医療技術部門管理資格」認定証の授与

<日臨技推薦枠>

履修単位/授業料等の減免処置あり

大学院に進学し修士課程を修了した者

\*）免除処置

○5科目9単位のeラーニングの視聴は免除するが単位認定試験に合格することが必要

③既取得者で直接「認定医療管理者」を受験する者

通常の大学院入学試験を受験・合格

履修単位/授業料等の減免処置なし

大学院に進学し修士課程を修了した者

「医療管理資格」認定試験

合格

「医療管理資格」認定証の授与

受験するには

受験条件

- ・実務経験
- ・施設の実績
- ・施設の推薦
- ・実務経験の論文
- ・面接

一定の条件を満たしたものに受験を許可する

## ○千葉科学大学が開校する5科目9単位のカリキュラム概要

科目名	単位数
ロジカル・コミュニケーション概論	1単位
医療管理概論	2単位
病院運営管理論	2単位
医療経済学	2単位
病院経営学	2単位

合計 5 科目 9 単位

## ○5科目9単位の履修

- 千葉科学大学の科目履修生になり、履修登録をすることが条件。
- 受講費用：税込み40,000円
- 受講期限：受講初年度を含む2年間（例：2026年4月～2028年3月末）
- 科目課程ごとに小テストを行い履修の修了確認を行う。
- 全科目の全課程が修了した履修生に単位認定試験を実施する。
- 科目課程ごとの小テスト並びに5科目9単位の試験全て、eラーニングでの方式で実施し、単位認定試験は課題への論文提出とする。

## ○ 集合研修の目的

eラーニング等で学んだ医療経営の基礎講座に関する知識を現場で実践するためにテクニカルスキルおよびノウハウについて体験型で学ぶことを目的とし、ケースディスカッションやワークショップを中心にしたプログラムを想定する

## ○ 集合研修の方法とテーマ

- 夏と秋の年2回（応募者数によっては年4回）の開催
- 受講費用：1回あたり税込み20,000円
- 集合研修を受講する前に千葉科学大学eランによる個人学習を修了し受講する
- 夏集合研修 **2026年度：8月予定**  
テーマ「医療版ロジカルシンキングをマスターする」（担当：谷内）
- 秋集合研修 **2026年度：11月予定**  
テーマ「医療機関の内部環境分析と外部環境分析をマスターする」（担当：神戸）
- 集合研修の定員は1回あたり30名程度

内容	費用
千葉科学大学eラーニング（5科目9単位） ※受講期限 2 年間	税込み40,000円
夏の集合研修	税込み20,000円
秋の集合研修	税込み20,000円
「医療技術部門管理資格」 認定試験	税込み20,000円
認定登録	税込み 5,000円

上記のとおり、「医療技術部門管理資格」の認定登録までにかかる費用は  
合計 税込み105,000円です。

科目名	ロジカル・コミュニケーション概論
責任者	佐藤幸光：人間総合科学大学 教授
授業の概要	自分の意思を正確に伝え、相手に納得させるためには、相手の立場に立った考え方や話し方が必要となる。また交渉力や折衝力も必要となる。特に管理者にとっては必要不可欠なスキルである。これらのスキルを身に着けるために、ロジカル・シンキングの基礎、問題解決力、プロジェクトマネジメント、ネゴシエーション、クリティカル・シンキング、コンフリクトマネジメント、リーダーシップ論、コーチング技術の基礎、プレゼンテーションについて教授する。
単位数	1

回数	授業計画	担当教員
1	ロジカル・シンキングの基礎（MECE、So What, Why So、ピラミッド構造因果関係、演繹法と帰納法など）について教授する。	佐藤幸光
2	問題解決力（解決策の実施 論理的思考方法、分析力、解析力、意思決定能力、決断力など）について教授する。	佐藤幸光
3	プロジェクトマネジメント（企画力）について教授する。	佐藤幸光
4	ネゴシエーション（交渉術）について教授する。	佐藤幸光
5	クリティカル・シンキングとコンフリクトマネジメントについて教授する。	佐藤幸光
6	リーダーシップ論（「オハイオ州立大学研究モデル」「ミシガン大学研究モデル」「条件適合理論」「PM理論」「X理論・Y理論」など）について教授する。	佐藤幸光
7	コーチング技術の基礎（傾聴、承認、質問など）について教授する。	佐藤幸光
8	医療現場に活かすプレゼンテーション技術について教授する。	佐藤幸光



科目名	医療管理概論
責任者	高橋淑郎 文京学院大学大学院 教授
授業の概要	近年、医療の現場における「質の管理」「経営管理の知識」「コミュニケーション」などが切実な課題になっているなかで、医療管理全般に専門的な知識を有する人材の養成が急務となっている。同時に、医療全体を俯瞰しながら、個々の現場の実際とそれらのつながりが分かる人材は乏しい。この医療管理概論では、医療、病院と病院経営の歴史からはじまり、医療管理全般を理解した中で、現代的課題を解決できる基礎力を養うことを目的として医療の質の管理、施設管理、医療安全について教授する。
単位数	2

回数	授業計画	担当教員
1	医療管理概要：①医療管理論とは何か 医療管理論の概要について説明する。	高橋淑郎
2	医療の歴史：日本および西洋における医療、病院と病院経営の歴史 医療、病院と病院経営の歴史について解説する。	高橋淑郎
3	医療政策：日本の医療政策を概観し、地域医療システムを考える。	高橋淑郎
4	病院の組織：①組織構造：経営組織論からみた病院組織 経営組織論について解説する。	高橋淑郎
5	病院の組織：②組織改革：病院組織の課題と改革事例 病院組織の課題と改革事例を取り上げる。	高橋淑郎
6	人事管理：①人事管理の基本の考え方、②病院における人事管理の基礎 人事管理について解説する。	高橋淑郎
7	チーム医療：①チーム医療とは②チーム医療に必須の考え方③専門職の協働 チーム医療について説明する。	高橋淑郎
8	医療現場に活かすプレゼンテーション技術について教授する。	鈴木由紀子
9	医療倫理、経営倫理、生命倫理 医療倫理、経営倫理、生命倫理について説明する。	村越 悟
10	医療の質の管理：②医療における質の管理について説明する。	村越 悟
11	QC,TQC,TQM,CQI,方針管理など伝統的な品質管理の考え方と医療経営 品質管理の考え方と医療経営について説明する。	高橋淑郎
12	医療と介護の連携について説明する。	北村世都
13	医療における情報と施設の管理：①電子カルテの現状と課題、②医療施設のファシリティ・マネジメントについて説明する。	村越 悟
14	医療安全概論：①国による医療安全対策の取り組み、②医療機関における医療安全体制③医療事故ケース・スタディーについて説明する。	佐藤幸光
15	災害時のリスクマネジメント：①医療を取り巻く災害と対策、②事業継続計画について説明する。	佐藤幸光

科目名	医療経済学
責任者	高橋淑郎 文京学院大学大学院 教授
授業の概要	医療の経済学的特性や医療費、診療報酬など医療経済学の基本的事項について学ぶ。医療費においては医療費の推移と医療費増加の要因などについて解説する。日本の社会保障制度を海外と比較しながら解説を行う。医療経済と統計・調査（データ分析）についても解説する。また医療保険の理論と実際、高齢社会の中で着実に増大する医療サービスと関係の深い介護サービスも含めた提供システムなどの諸問題、さらに医療経済評価や医療産業などについて解説し、管理者としての基礎知識について教授する。
単位数	2

回数	授業計画	担当教員
1	医療経済学について概要を説明する。	佐藤貴一郎
2	国民医療費とその推移、医療費増加の要因などについて教授する。	佐藤貴一郎
3	日本の社会保障制度と医療制度・財政について解説し、国際比較をとおして我が国の制度について教授する。	佐藤貴一郎
4	保険の原理と医療保険について教授する。	佐藤貴一郎
5	日本の医療保険制度と介護保険制度について教授する。	佐藤貴一郎
6	国民皆保険を巡る諸問題、受益と負担について教授する。	佐藤貴一郎
7	医療経済と診療報酬制度について教授する。	佐藤貴一郎
8	医療サービスの提供と医療サービス市場にける競争・規制について教授する。	佐藤貴一郎
9	医療サービスの需給と資源について教授する。	佐藤貴一郎
10	医療需要における医療機関選択と医療の質について教授する。	佐藤貴一郎
11	医療経済と医療政策の影響について解説する。	佐藤貴一郎
12	医療経済と統計・調査（データ分析に向けて）について教授する。	佐藤貴一郎
13	医療経済評価とその方法について教授する。	佐藤貴一郎
14	医療市場の性質と規制、医療市場における競争について教授する。	赤瀬朋秀
15	医療産業の経済波及効果について教授する。	赤瀬朋秀

科目名	病院運営管理論
責任者	高橋淑郎 文京学院大学大学院 教授
授業の概要	<p>広く病院の運営、経営に係わること、すなわち病院経営や運営に必要な基礎的な事項を学ぶことに加え、経営的視点で病院組織を思考することをできるように教授する。</p> <p>BSC,クリニカルパス、医療ガバナンスなどの経営管理、患者権利と守秘義務対策、ISO 27001 などの情報、医療法をはじめとした法律、管理会計と財務会計の会計、マーケティングなどの実践力を養うための基礎的な知識および考え方を修得することを目的とする。</p>
単位数	2

回数	授業計画	担当教員
1	非営利組織としての病院で「経営、管理、運営」を考える基礎について教授する。	高橋淑郎
2	日本の医療制度の特徴と診療報酬制度について教授する。	高橋淑郎
3	病院組織を考える基礎（非営利性、専門職気質、組織、部分最適、全体最適）について教授する。	高橋淑郎
4	規制産業としての病院について：規制とは何をするのか、規制の緩和について教授する。	高橋淑郎
5	日本の病院の第三者評価について教授する。	村越 悟
6	経営管理Ⅰ：経営管理の基礎理論について教授する。	高橋淑郎
7	経営管理Ⅱ：病院の経営管理の実際 BSC,クリニカルパス、医療ガバナンスについて教授する。	高橋淑郎
8	経営管理Ⅲ：医療機関における戦略策定と手法について教授する。	高橋淑郎
9	情報管理：患者権利と守秘義務対策、個人情報保護への対策と実際、ISO 27001 など。病院に関係する患者情報の扱いと規制と実際について教授する。	岡田太
10	病院に係る法律：医療法、医師法/歯科医師法、臨床検査技師法、保健師助産師看護師法、薬事法などの概略と経営上のポイントについて教授する。	岡田太
11	病院に係る制度：健康保険制度、介護保険制度などについて教授する。	岡田太
12	医療マーケティングの基礎について教授する。	戸田裕美子
13	管理会計と財務会計の基本（基礎理論を教授する）から病院会計をみて解説する。	橋口 徹
14	医療事故の事例と対策 病院運営において医療事故をどのように捉えるかについて解説する。	佐藤幸光
15	医療事故分析の手法と危険予知活動、安全管理体制構築のための手法について教授する。	佐藤幸光

科目名	病院経営学
責任者	赤瀬朋秀 日本経済大学 教授
授業の概要	医療経営のマネージャーとして、病院経営に直接・間接的に従事する人を対象とする。経営環境の変化の中でも重要な経営計画、財務、医療機関でのヒトのマネジメント・労働管理、医療経営分析について解説する。
単位数	2

回数	授業計画	担当教員
1	医療経営を取り巻く環境変化、そして現状と課題について教授する。	赤瀬朋秀
2	地域における病院のポジショニングについて教授する。	赤瀬朋秀
3	経営計画（中期計画から年次計画へ）について教授する。	赤瀬朋秀
4	医療経営戦略：①経営戦略の内容、②戦略分析の基本スタンスについて教授する。	赤瀬朋秀
5	医療機関における財務①：管理会計と財務会計（貸借対照表、損益計算書の見方）について教授する。	村越 悟
6	医療機関における財務②：財務諸表の見方と会計管理（キャッシュフロー管理）について教授する。	村越 悟
7	医療機関における財務③：事業計画の作成、資金計画および資金調達について教授する。	村越 悟
8	医療経営分析Ⅰ：医療経営分析の体系について教授する。	赤瀬朋秀
9	医療経営分析Ⅱ：医療経営分析の事例研究について教授する。	赤瀬朋秀
10	医療機関におけるモノのマネジメント：仕入れ、価格交渉、在庫管理、期限管理について教授する。	赤瀬朋秀
11	医療機関におけるヒトのマネジメント：①医療従事者の募集広報、②能力評価と目標による管理について教授する。	赤瀬朋秀
12	医療におけるヒトのマネジメント：③タイムマネジメント、④健康管理とストレスマネジメントについて教授する。	赤瀬朋秀
13	労務管理：①労働関係法規の理解、②建設的な労使関係の構築、③問題職員の管理について教授する。	村越 悟
14	地域医療連携①：多職種連携のための院内のマネジメントについて教授する。	赤瀬朋秀
15	地域医療連携②：地域における多職種連携のマネジメントについて教授する。	赤瀬朋秀

講師一覧 （科目およびコンテンツ順）

佐藤幸光：人間総合科学大学 教授

高橋淑郎 文京学院大学大学院 教授

北村世都：聖徳大学心理・福祉学部心理学科 教授（介護経営、介護職教育）

鈴木由紀子：日本大学商学部 教授（経営倫理、職業倫理）

村越悟：株式会社みなとオフィス代表取締役

佐藤貴一郎：国際医療福祉大学 前教授

赤瀬朋秀 日本経済大学 教授

岡田太：日本大学商学部 教授（保険論・リスクマネジメント論が専門）

戸田裕美子：日本大学商学部 教授（マーケティングが専門）

橋口徹：日本福祉大学経済学部教授（管理会計が専門）

年 月 日

千葉科学大学長 殿

本 籍\_\_\_\_\_都 道 府 県

氏 名\_\_\_\_\_

生年月日\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日生

住 所\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

科目等履修生許可願

貴学科目等履修生として、下記のとおり履修したいのでご許可願います。

記

最終の出身学校名									
現職									
期間									
期	履修科目名	曜日 時限	教員名	単位数	期	履修科目名	曜日 時限	教員名	単位数
					合 計				
添付書類		<div>・ 履歴書</div> <div>・ 卒業（修了）証明書</div> <div>・ 写真（2枚 4×3cm）</div>							
理 由									

ここで取り扱う個人情報は学籍管理のために利用し、他の目的では使用いたしません。  
また、個人情報は管理責任者のもとに管理し、事前に本人の承諾なく第三者へ提供されることはありません。